

令和2年12月15日

各位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
 代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
 (コード2388 東証JASDAQ市場)
 問合せ先 開示担当 小竹 康博
 (TEL 03 - 6225 - 2207)

令和2年9月期連結業績及び個別業績の前年同期実績からの差異に関するお知らせ

当社は、業績予想の公表を差し控えさせていただいておりますが、令和2年9月期（令和元年10月1日～令和2年9月30日）の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和2年9月期 連結業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前年同期実績(A) (令和元年9月期)	9,318百万円	598百万円	212百万円	△448百万円	△12.53円
今回発表業績(B) (令和2年9月期)	7,750百万円	342百万円	△340百万円	△1,839百万円	△51.44円
増減額(B-A)	△1,568百万円	△256百万円	△552百万円	△1,391百万円	—
増減率(%)	△16.8%	△42.8%	—	—	—

2. 差異の理由

売上高につきましては、営業貸付金を減少させる保守的な営業方針を採っていたことと、新型コロナウイルス感染症対策による営業停止・休業の影響により、前年同期実績より1,568百万円減少し7,750百万円（対前年同期実績16.8%減少）となっております。

営業利益につきましては、上記売上高減少のほか、**Digital Finance** 事業において、新型コロナウイルス感染症拡大に備えた特別な引当金の計上等の影響により、256百万円減少し342百万円（対前年同期実績42.8%減少）となっております。

経常利益につきましては、上記の要因のほか、社債利息の負担が相対的に大きかったことから552百万円減少し△340百万円（対前年同期実績259.9%減少）となっております。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の要因に加え、訴訟損失引当金繰入を22億95百万円計上したこと等から、1,391百万円減少し△1,839百万円（前年同期は448百万円の純損失）となっております。

3. 令和2年9月期 個別業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前年同期実績(A) (令和元年9月期)	459百万円	△204百万円	△200百万円	△203百万円	△5.70円
今回発表業績(B) (令和2年9月期)	512百万円	△43百万円	△68百万円	△2,161百万円	△60.44円
増減額(B-A)	53百万円	161百万円	132百万円	△1,958百万円	—
増減率(%)	11.5%	—	—	—	—

4. 差異の理由

売上高につきましては、当社が手がけた各種漫画の人气が好調であることから書籍編集が伸びたこと、また当社が手がけたトレーディングカードゲームの人气が高くロイヤリティ収入が伸びたことから、前年同期実績より53百万円増加し512百万円（対前年同期実績11.5%増加）となっております。

営業利益につきましては、上記売上高増加のほか、経費の削減効果も奏功し、161百万円改善し△43百万円（前年同期実績は△204百万円）となっております。

経常利益につきましては、上記の要因により、132百万円改善し△68百万円（前年同期実績は△200百万円）となっております。

当期純利益につきましては、上記の要因に加え、子会社株式（Engine Holdings Asia PTE. LTD.）の評価を行った結果、関係会社株式評価損を2,085百万円計上したことから、1,958百万円減少し△2,161百万円（前年同期実績は△203百万円）となっております。

以 上